

問 教育施策の現状は

答 近隣市町村に先行している



永井 利明 議員 誠進会

問 物的な教育環境整備は、他市町村と比べてどうか。

答 〔教育部長〕近隣市町村に先行し、各学校にエアコン、タブレットパソコンを配備。

問 人的環境はどうか。他市町村にはない市単独の職員配置はどうかになっているか。

答 今年度から3中学校に配置している部活動指導員、来年度から配置予定のスクールサポートスタッフは近隣市町村にはない。

問 PTAや教育現場からは、教育環境についてどんな要望が出ているか。

答 特別教育支援員の増員、施設修繕など。

問 本市教職員の時間外勤務は改善されたか。



▲今年度から市内3中学校に部活動指導員を配置(弥富北中学校)

答 小学校では在校時間の縮減が見られた。中学校では100時間を超える教職員に減少が見られた。

問 部活動時間の改善は、

答 小学校では来年度から陸上特設部以外はなくなる。中学校では部活動指導員のより良い運用の仕方を

目指す。

問

今後の教育環境は

答

適正規模・配置を重視

問 学校適正規模について検討の進捗は。

答 〔教育部長〕28年に出された答申や、子ども・地域の願いを尊重し、中期財政計画・公共施設等総合管理計画を考慮し、新指導要領の考えに沿い進める。

問 学校統廃合について、近隣市町村の状況は。

答 本市以外に検討している市町が3つあるが、実施できたところはない。

問 第2次総合計画、公共施設再配置計画の中に学校

統廃合の計画は入っているか。

答 計画対象施設として含まれている。

問 これからの弥富の教育施策についての展望、市長の考えは。

答 〔市長〕安全安心な学校体制、生きる力の育成、いじめ不登校対策、学校支援、適正規模・配置の5点を重要視していく。

